

2020年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成 資金分配団体公募 採択事業

事業名 主題	コロナに負けない・越える信州緊急助成事業
事業名 副題	—
対象地域	長野県
団体名	公益財団法人長野県みらい基金
代表者名	理事長 高橋 潤
解決すべき社会課題	1) 子ども及び若者の支援に係る活動；①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子供の支援；②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援；③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援、2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動；④働くことが困難な人への支援；⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援、3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動；⑥地域の働く場づくりの支援；⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
事業の概要	1. 支援活動継続支援としての助成事業 「支援活動団体への経済的、人的不足への助成」 2. 事業形態改変への助成事業「既存事業をコロナ対応にするために生じる事業資金助成」 ① 設備的資金 ② 人材的資金 3. コロナ対応新規事業開発への助成「既存事業から、あるいは併存して始める新規事業への助成事業」 ① 研究開発資金 ② 設備投資的資金 ③ 人材育成資金
事業期間	1年
助成額 (円)	73,544,067

審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台風被災地への配慮、農業とつなげる就労支援、自然環境をいかした屋外での子どもの居場所事業など、長野県の特徴をいかして、事業計画を考えている点はユニークで強みになると考えます。また、事業計画も、活動継続支援、事業形態改変助成、新規事業といった視点から組み立てられているのも良いと考えます。 ・ 調査に基づく状況把握から、取り組みの方向性を見立てを持って事業企画がなされていることが、評価できます。 ・ 緊急的な資金支援のみならず、3ステップに分けて事業形態や活動形態開発まで視野に入れている点は評価できます。 ・ 有効な実行ができるように、取り組む課題の構造化や絞り込み、実行体制の強化に留意していただきたいと思います。 ・ 長野県の特性を踏まえて（りんご農家が多い、大企業の工場立地など）課題設定と実行団体の活動想定ができると、県単位での支援の意義がより見出せると感じました。 ・ コロナ禍での新しい取り組みはぜひ県内外での共有に努めていただきたいと思います。
--------	---

※審査コメントは、審査時点（2020年7月初旬）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点（2020年9月下旬）のものです。